遮音性能データシート

東邦亜鉛(株)ソフトカーム事業部

部位	制振遮音ボードSP-4D単体	測定値	音響透過損失	測定機関	東京都立産業技術研究センター	Index	材料-SP4D-JOINT

表題　**制振遮音ボードSP-4Dの目地処理方法**

概要　制振遮音ボードSP-4Dは、石膏ボードの裏面に、遮音材(制振遮音板)を貼り合わせた複合板です
製造上の理由により、遮音材は石膏ボードよりわずかに小さい寸法としているため、端部より数ミリは石膏ボードだけとなりますが、
目地部分に生じた遮音材の隙間は遮音性能に影響しないことを、本実験により確認しております

＜比較実験の結果＞

横目地(遮音材の隙間10mmあり)	平均音響透過損失
無し	Rm-32
有り	Rm-33

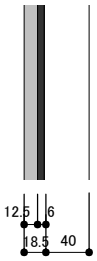
遮音材どうしに10mmも隙間がある横目地を設けても、パテ塗りによる隙間処理を行うことにより、遮音性能の低下は見られず、遮音材の隙間による影響はないと言えます

遮音性能　＜遮音性能評価値の意味＞　Rm:平均音響透過損失(100Hzから2.5kHzの平均値)

マーク	横目地	音響透過損失 (dB;デシベル)																	遮音性能評価値	試験成績書	
		100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1k	1.25k	1.6k	2k	2.5k	3.15k	4k	5k	Rm	年月日	整理No
○	無し	17.7	21.8	21.9	24.0	26.0	28.4	30.3	32.8	35.1	37.3	38.7	40.6	41.8	41.9	40.3	39.1	41.9	43.4	32	2008.5.20	255
▲	有り	20.1	20.2	23.5	25.7	27.7	30.0	31.7	33.9	35.5	37.8	39.2	41.0	42.3	43.1	42.2	40.9	42.5	45.4	33	2008.6.11	282

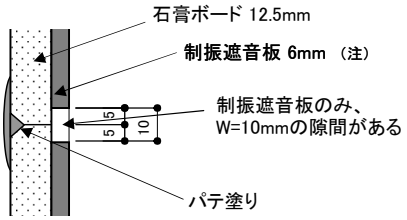
断面図　面密度(kg/㎡):材料の1㎡当たりの重量

一般部



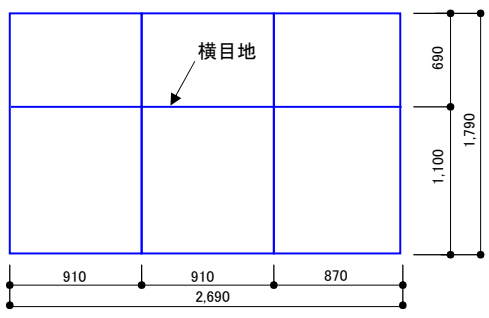
No.	材料	厚さ mm	面密度 kg/㎡
1	石膏ボード	12.5	8.4
2	制振遮音板 (注)	6	18
3	木下地40×30		
	@455		
	合計	18.5	26.4

横目地部

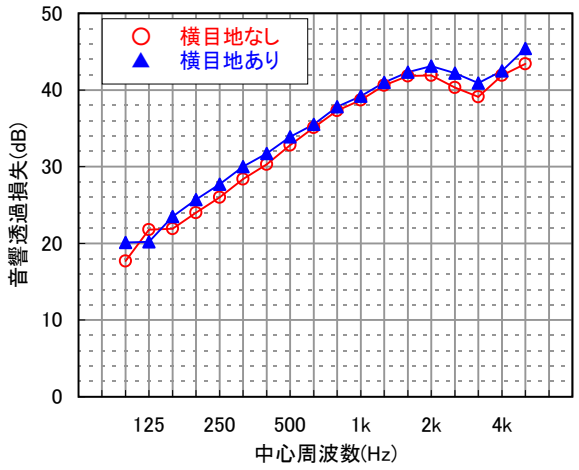


(注)本実験は、制振遮音板の厚さを6mmで行っています
(SP-4Dは、厚さ4mm)

姿　図

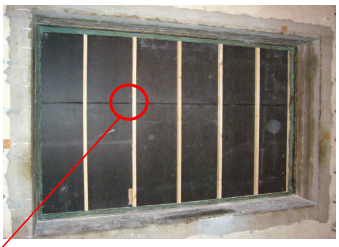


遮音性能グラフ　縦軸(音響透過損失)の値が大きいほど、遮音性能が高いことを示します
横軸(周波数Hz;ヘルツ)は音色を示し、右ほど高音となります



試験体写真　(横目地あり)

石膏ボード側　目地パテ処理



遮音材側

横目地部　拡大

＜ご注意＞本書は遮音性能を保証するものではありません

作成日:2008.8.14　作成者:田伏